

(3) 中高一貫教育校

こんな学校です

中高一貫教育校は、中学校から高校までの6年間を継続してじっくり学ぶことができる学校です。6年間にわたる一貫した教育活動を計画的・効率的に行うことにより、学力や教養を身に付け、将来、社会の様々な場面、分野でのリーダーとなりうる人材を育てていきます。

ここが魅力

- ポイント1 ●6年間を見通した学習プログラムの中で効果的に学習活動に取り組むことができます。
- ポイント2 ●6年間かけて、自分の得意なことを伸ばしたり、好きなことにじっくり取り組んでいきます。
- ポイント3 ●6年間の生活の中で、自然体験や社会体験などの体験学習にも力を入れます。
- ポイント4 ●中学生と高校生が、文化祭や運動会などの学校行事や部活動などにいっしょに取り組めるようになり、充実した学校生活を送ることができます。

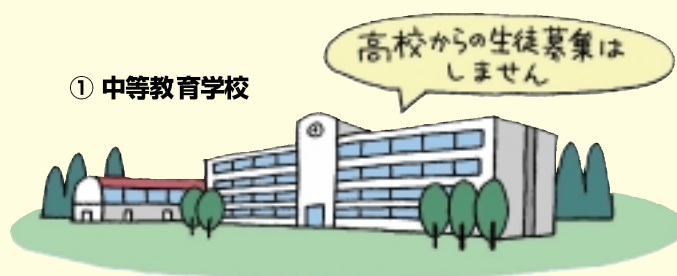
※ 中等教育学校及び併設型中学校・高校においては、以上のような特徴を生かして教養教育を重視した学習プログラムを編成していきます。

3つのタイプの中高一貫教育校

■東京都では、次の3つのタイプの中高一貫教育校を設置していきます。

① 中等教育学校

1つの学校として、6年間を通じて中高一貫教育を行う学校。中学に当たる前期課程と高校に当たる後期課程とからなっています。6年間の一貫教育を行うために、後期課程からの生徒募集は行いません。



② 併設型の中学校・高校

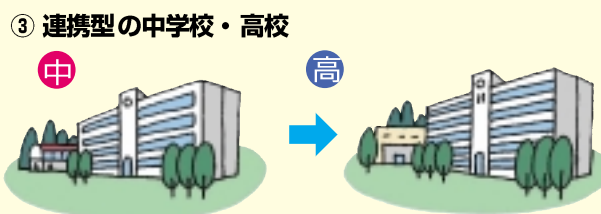
都立中学校と都立高校の2つの学校を接続します。併設型の中学校から併設型の高校へは、入学試験を受けずに進学できます。併設型の高校は、他の中学校卒業生を対象に一般募集も行います。



③ 連携型の中学校・高校

いろいろなタイプの都立高校が区市町村立中学校と連携して、中学生が高校レベルの学習をしたり、高校生が中学校で勉強したことを、改めて学習したりするなど、各学校において、特色ある教育を行います。

行事や部活動などでも高校生と中学生の交流を行います。



ちょっと聞かせて



Q 中高一貫教育校に通学区域はありますか？

A 都立の中高一貫教育校については、全都を対象に生徒を募集します。ただし、都立高校と連携型の中高一貫教育を行う区市町村立中学校の場合は、区市町村が決めた通学区域となります。

Q 中学3年生が、中高一貫教育校を受検できますか？

A 中等教育学校は募集をしません。併設型と連携型の中高一貫教育校(高校)は一般から生徒募集を行うので、受検することができます。

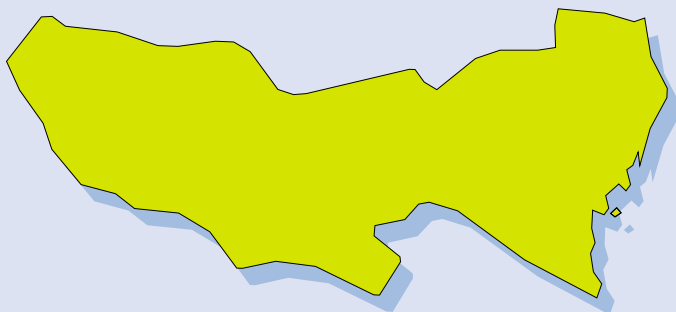
Q 中等教育学校に通った場合、義務教育を受けたことになるのですか？

A 中等教育学校については、前期課程の3年間で義務教育にあたります。また、前期課程を修了すると、義務教育を終えたこと(中学校卒業と同じ扱い)になります。

Q 都立の中高一貫教育校は、何校できるのですか？

A 中等教育学校と併設型中高一貫教育校は、平成22年度までに10校設置する予定です。また、連携型の中高一貫教育校は、区市町村との連携の体制が整ったところから設置を進めていきます。

【所在地及び開校年度】



- ① 台東区中高一貫6年制学校 平成17年度開校予定
台東区元浅草1-6-22 (現白鷗高校)
- ② 目黒区中等教育学校 平成18年度開校予定
目黒区八雲1-1-2 (現都立大学附属高校)

注 ②と⑤以外の学校については、中等教育学校又は併設型中高一貫教育校として設置

- ③ 文京区中高一貫6年制学校 平成18年度開校予定
文京区本駒込2-29-29 (現小石川高校)
- ④ 墨田区中高一貫6年制学校 平成18年度開校予定
墨田区江東橋1-7-14 (現両国高校)
- ⑤ 国際中等教育学校 平成20年度開校予定
立川市曙町3-29-37 (現北多摩高校)
- ⑥ 武蔵野地区中高一貫6年制学校 平成20年度開校予定
武蔵野市境4-13-28 (現武蔵高校)
- ⑦ 中野区中高一貫6年制学校 平成22年度開校予定
中野区弥生町5-21-1 (現富士高校)
- ⑧ 練馬区中高一貫6年制学校 平成22年度開校予定
練馬区東大泉5-3-1 (現大泉高校)
- ⑨ 八王子区中高一貫6年制学校 平成22年度開校予定
八王子市明神町4-20-1 (現南多摩高校)
- ⑩ 三鷹区中高一貫6年制学校 平成22年度開校予定
三鷹市新川6-21-21 (現三鷹高校)
- ⑪ 千代田区立中等教育学校 平成18年度開校予定
千代田区九段北2-2-1 (現九段高校)

中学生の皆さんへ

「都立高校はどうなってしまったんですか」「都立高校を子どもたちが行きたくなるような学校にしてください」。私は、仕事柄いろいろな教育関係の会合に出席することが多いのですが、その場で必ずといっていいほど言われる言葉です。こうした言葉は裏を返せば、都立高校への熱い期待の表れと真剣に受け止めています。都民の皆さんの信頼、期待にどう応え、魅力ある都立高校への再生を図って行くのか、検討を重ねてまいりました。

その答えの一つとして出したのが、今回の「新た

な実施計画」です。高校生活の主役は生徒の皆さんです。校長をはじめ教職員も頑張りますが、魅力ある都立高校を育て上げていくのは、生徒の皆さんの熱意です。皆さん自身のためにも、また皆さんに続く後輩のためにも、皆さんが潜在的に持つ限り無き可能性に「挑戦」してみませんか。都立高校は、新たな形で意欲ある皆さんを迎えたいと思っています。

教育長 横山 洋吉